

麦類赤かび病に関する情報(第4報)

令和5年4月18日

香川県農業試験場病害虫防除所

麦類赤かび病は、その病原菌が毒素を生成することから、麦類の重要病害虫に位置付けられています。麦の開花期～乳熟期が赤かび病菌に感染しやすくなる時期で、これからの時期の天候が発生の多少に大きく影響します。すなわち、開花期頃の気温が高く、高湿度の日が連続すると多発生しやすくなります。

最も重要な防除時期は開花始めの頃とその7～10日後です。時期を見極めて適期に防除しましょう。なお、本情報の開花期予想は綾川町（本県内陸部）における予測であり、平野部～海岸部ではこれより早くなるので注意してください。

1. 麦類の生育状況

農業試験場における小麦「さぬきの夢 2009」の12月上旬播種の予想開花期は4月21日で、平年より2日程度早く、11月播種と同様に早くなると予想されます（表1：農業試験場作物・特作研究課調べ）。

表1 麦類の出穂及び開花の状況（農業試験場作況試験圃場：綾川町）

（4月18日時点）

麦種	品種	播種期	出穂期		開花期 ^{注1)}	
			平年値 ^{注2)}	本年 ^{注3)}	平年値 ^{注2)}	本年 ^{注3)}
はだか麦	イチバンボシ	11月上旬	3月24日	3月22日	3月31日	3月29日
		11月中旬	3月28日	3月26日	4月4日	4月1日
		12月上旬	4月4日	4月2日	4月11日	4月8日
小麦	さぬきの夢2009	11月上旬	3月27日	3月27日	4月11日	4月8日
		11月中旬	4月3日	4月4日	4月16日	4月13日
		12月上旬	4月13日	4月11日	4月23日	4月21日(予)

注1) 開花期は40～50%の穂が開花する時期を示す。

注2) 平年値は平成26年播き～令和3年播きの8か年の平均値である。

注3) (予)を付して赤字で示した日付は、綾川町における予想値である。

2. 気象経過と赤かび病発生条件の出現状況（別表参照）

1) 4月18日現在、高松市アメダスのデータをもとにすると、子のう胞子の飛散好適日が3月23日、3月24日、4月5日、4月6日、4月7日、4月12日、4月14日、4月15日、4月16日、4月17日に出ています。

2) 高松地方气象台発表の4月15日～4月21日までの週別の平均気温と天候によると、平均気温は平年より高い見込みであり、晴れる日もありますが、期間のはじめは雨が降る予報です。

3. 防除情報

1) 現在、赤かび病に適用のある薬剤は、発病前に散布しないと防除効果がないため、防除は開花始期に実施するようにしましょう。

2) 今週末にかけて高温・降雨が予想されるため気象経過に注意しつつ、追加防除の時期を決めましょう。

表2 赤かび病の防除時期、防除薬剤等

	防除時期	防除薬剤	希釈倍数	使用時期／回数
1回目	開花始め頃	トップジンM水和剤	1,000～1,500 倍	小麦 14／2 はだか麦 30／1
2回目	1回目の7～10日後	ワークアップフロアブル	2,000～3,000 倍	小麦 7／3 はだか麦 7／3

(資料:小麦、はだか麦の栽培しおり)